

各学年における地球学の内容

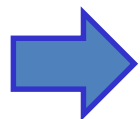


地球学

4年間の体系的な学習活動

平成20年の開校以来、附属中学校の「総合的な学習の時間」では、社会の諸課題を地球規模で考える「**地球学**」を実施。自然・社会・人文科学を中心に、教科横断的に学ぶ。高等学校では「総合的な探究の時間」となり、継続して地球規模の課題に対し、持続的な開発目標を立案します。

中学1年生
基礎講座



中学2年生
発展講座



中学3年生
応用講座



高校1年生
個人課題研究

尾瀬サマーキャンプ
地域巡検・社会科見学
(自然・環境・文化)

結い(農業)体験学習
(自然と産業の関わり)
異文化理解・交渉学

模擬国際連合
(国際社会における日本)
調査・研究の方法
研究テーマの決定

持続的な開発目標の立案
SDGs新聞の作成
研究論文執筆・研究発表

各学年の「地球学」とSDGsを関連させて学びを深めています。2019年から2年間、本校は「**持続可能な社会づくりに向けた教育推進校**」に指定されました。中学校から高校過程まで「地球学・SDGs」の学びを4年間にわたり体系的に行っています。



附属中学校の校外行事と地球学

身近な地域の特色を基礎として、
自然・社会環境の特色を比較する。

中2 結い体験学習
【新潟県十日町市】

地球学は、総合の時間だけでなく、教科の学習、**各学年の校外行事**、各分野の専門家を招聘して行う講演会なども活用して、多角的に行われます。様々なアクティビティやグループワークにより知識や経験を深め、課題研究に進んでいきます。

中1 社会科見学
【府中市周辺】



中1 地域巡検
【学校周辺】

身近な地域の
自然環境・社会環境
を知る



附属中の中での
様々な校外行事

中3 修学旅行
【奈良・京都ほか】



中1 尾瀬サマーキャンプ
【群馬県尾瀬ヶ原】



身近な地域との違いは何か？
→複合的(自然・環境・歴史・文化・生活など)に考える

ものの見方(視野)
を徐々に広げていく